



オランダ国際球根協会ニュースレター 球根特集 2012年1月号 VOL.034

## CONTENTS

「新年のご挨拶」 オランダ王国花き球根・苗木貿易協会・iBulb 会長 ヘンク ウェスターホフ  
「チャレンジのある新しい年に」 iBulb Japan コーディネーター レン オークメイド  
JAFTA、Anthos、IBC 共同主催による協力市場（卸）向けセミナー・懇談会が行われました  
2012年の展示・ミニデモイベント「Bulb flower festival」を大田市場 世田谷市場で開催  
株式会社 日園（新潟）「Tulip Trial 2012（チューリップの試験栽培と展示会）」のご紹介  
「National Tulip Day 2012」オランダで初めて行われた チューリップ・デー レポート  
「チューリップ好き」の年代層は何歳くらい？ ヨーロッパ各国を比べてみました

## CONTENTS

「新年のご挨拶」 オランダ王国花き球根・苗木貿易協会・iBulb 会長 ヘンク ウェスターホフ

オランダ王国花き球根・苗木貿易協会ならびに iBulb より新春のお慶びを申し上げます。



オランダ王国花き球根・苗木貿易協会（Anthos、アントス）は、花き球根や苗木の取引に従事するオランダ企業によって構成され、オランダ国内はもとより海外市場における業界の利益を視野におく団体です。アントスは、販売促進、技術研究、市場調査、防疫業務、労働、物流政策、品質管理、国際取引など多岐にわたる懸案事項と深く取り組み、会員に向け幅広い業務を提供しています。

この度、アントスは「iBulb」という名称の新しい組織を発足させました。アントスの会員、なかでも球根業者の大多数が加盟するこの新組織は2012年1月1日に活動を開始する運びとなりました。iBulb は、これまでオランダ球根業界の販売促進を担ってきたIBC オランダ国際球根協会の業務の一部を引継ぎ、活動を展開します。これによりオランダ国際球根協会は同日付でその全ての活動を終了致します。

iBulb は、会員から集めた220万ユーロの年間活動資金をおもに花卉球根と球根花の世界規模での販売促進に充当する予定です。今後展開される活動はおもに消費者を主眼としており、様々なPR活動を通じて、ガーデニング向けの多彩な花き球根に加え、チューリップ、ユリ、グラジオラスなど球根花への魅力も消費者向けに発信してゆきます。

さらに、iBulb は、オランダ球根業界にとって五大輸出国のひとつである日本市場向けに特別な販売促進活動を打ち出す予定で、ユリとチューリップの売り上げに力を入れるほか、ガーデニング向けのドライセールも支援してゆきます。

日本向け販売促進活動の実施に向け、この度、アントスと iBulb は、IBC オランダ国際球根協会の前コーディネーター レン・オークメード氏と合意書の締結に至りました。オークメード氏は、オランダの球根取扱業者、日本の輸入業者との協力のもと、今後、球根の販売促進を目指して新しい切り口で数々のアイデアを展開してゆきます。

アントスは、また、先ごろ、日本花き球根輸出入協会（JFTA）、日本花き生産協会 球根・切花部会（JFGA）、フカヤリリーストクラブ（FLC）とも特記すべき合意書の締結に至りました。今後、上記3団体から集めた追加課金は、日本市場におけるユリの特別な販売促進活動や売り上げ向上に充てられる予定で、iBulb の活動資金として予算に組み込まれることとなりました。オランダと日本の球根取扱業者はこれまでも緊密な提携関係を築いてきましたが、このほど、両国の代表者ら、ならびにレン・オークメード氏によって構成される混成委員会が結成されました。混成委員は年に二度参集し、オークメード氏の提案をもとに活動内容を決定するほか予算の使途を決定します。

両国の球根業界を担うアントス、日本花き球根輸出入協会（JFTA）、日本花き生産協会 球根・切花部会（JFGA）、フカヤリリーストクラブ（FLC）にとって、昨年は球根の PR に向けて強固な絆の足固めをする一年でした。新組織 iBulb のご提供する専門的なサポートをはじめとし、レン・オークメード氏や混成委員会の強い関与のもと、今後も、オランダ球根の日本市場における確固たる地位は揺らぎないものと確信してやみません。

オランダ王国花き球根・苗木貿易協会（アントス）・ iBulb 会長  
ヘンク・ウェスターホフ

## 「チャレンジのある新しい年に」 iBulb Japan コーディネーター レン オークメード

ほとんどの西欧諸国では1月1日は新しい年の始まりの日です。しかし、古の時代の異教徒たちは、春分の日の太陽とともに訪れる春を新しい年の始まりとしました。また、冬の暗さに打ち勝つ冬至の光に包まれる12月21日を新年の始まりと考える人たちもいます。中国の暦では現在でも旧暦で新年を迎えています。

しかし、私は大切なことはいつ新年を迎えるのかではなく、新しい年がよりよい年になるために、年の初めに何を決意するのかだと思います。

このニュースレターでは、Anthos（オランダ王国花き球根・苗木貿易協会）の会長であり、昨年末までIBCの会長も務められたヘンク・ウェスターホフ氏より新年のご挨拶を頂いております。そこで昨年末をもってのIBCの業務終了、新しい球根のプロモーションシステムについて紹介されています。オランダでの課金システムは今までの強制的なものから自主的なシステムへと変更され、このシステムの変更に伴い、2011年末にIBCは85年間続いた歴史を閉じました。

今後はオランダの球根輸出業者から自主的に集められた資金により、プロモーション、調査、植物検疫関連などの活動にかかる予算が構築されます。これらの活動はオランダ国内だけではなく3つのPRグループ（ヨーロッパ、北アメリカ、極東アジア）に分かれ世界的に展開され、新組織 iBulb（アイバルブ）によって運営されます。日本での iBulb（アイバルブ）の活動は4月1日より始動する予定です。

日本での球根のプロモーションは、さまざまな関係者や団体とのより密な関係を保ち、計画されたプロモーション・プロジェクトに基づき継続されます。ここで、過去のアメリカ大統領のスピーチを思い出してください。「あなたの国があなたのために何ができるかを問うのではなく、あなたがあなたの国のために何ができるのかを

問うてほしい。」 私も今、同じような問いかけをしたいと思います。「プロモーションがあなたのために何ができるかを問うのではなく、あなたがプロモーション活動をサポートするために何ができるのかを問うてほしい。」

新システムへの移行に伴い、ニュースレターはこれまでの毎月配信から1年に6回の配信に変更されます。2012年度の配信は、1月、3月、5月、7月、9月、11月の奇数月になります。新しい「iBulb Newsletter」にご期待ください。

日本では新しいチャレンジがあるエキサイティングなことがたくさんある素晴らしい年になるでしょう。また、オランダでは、第6回 フラワーオリンピックやフロリアード（南部のフェンロでは4月5日から10月7日まで）が開催されます。

最後に、2012年が皆様にとって健康で実り多い年になりますことを心よりお祈りいたします。

iBulb Japan コーディネーター レン オークメイド

### JAFTA、Anthos、IBC 共同主催による協力市場（卸）向けセミナー・懇談会が行われました

2012年1月21日、東京・半蔵門にある株式会社日新本社講堂において「球根切花の現状と今後の課題」をテーマとしたセミナー・懇談会が開催されました。主催は、JAFTA（国際球根輸出入協会）と Anthos、IBC（オランダ国際球根協会）、オランダの球根の輸出会社、日本の輸入および生産に関わる人々、それに流通に関わる市場から卸16社の担当が参加。また社団法人日本花き生産協会球根・切花部会長 豊島正人氏も参加され、日本の球根切花に関わる人々が一堂に会しての情報交換は、約3年ぶりとなる大きな会議となりました。

JAFTAの中村裕司会長による協力して問題を解決していこうという挨拶から始まりました。その後、輸入・生産側からはアイリス、フリージア、グラジオラス、チューリップ、すかし/LA、テッポウユリ、カサブランカ、その他オランダ産および南半球産のオリエンタルという順番で、現状と問題点が詳しい統計資料と共に明らかにされました。その後のディスカッションでは、市場側からも現状と要望などが話されました。

IBCの日本コーディネーター、レン オークメイドからは、IBCとしての活動を終えて新しい組織「iBulb Japan」としての球根プロモーションについて、組織・資金・2012年のプロモーションのテーマと方向性について詳しい話をさせていただきました。

それぞれのスピーカーが現状の課題を克服しよりよくするためには協力が重要だということを繰り返し強調しています。生産、流通、参加者それぞれが新たな決意をもって会議を終えました。

### 2012年の展示・ミニデモイベント「Bulb flower festival」を大田市場 世田谷市場で開催

2012年の展示・ミニデモイベント「Bulb flower festival」を大田市場 世田谷市場で開催しました



2012年最初のイベントは、「bulb flower festival 2012 Home sweet bulb」。1月9日(月)~14日(土)大田市場花き部 1月16日(月)~21日(土)世田谷市場花き部にて開催しました。「早春を彩る可愛らしい花芽付き球根」というテーマで、展示とミニデモンストレーションを企画、9日(月)には早朝の大田市場仲卸ストリートで、また、16日(月)には

世田谷市場仲卸ストリートでミニデモンストレーションを開催しました。今回のイベントには、株式会社大田花き、株式会社フラワーオークションジャパン、株式会社東京砧花き、大



田市場花き部仲卸協同組合青年部、世田谷市場東京フラワーホールセールマーケット協同組合、株式会社リード商事、有限会社皿井植物園、有限会社 HANAMICHI、株式会社四柳養樹園のみなさまにご協力をいただきました。ありがとうございます。

大田市場、世田谷市場の仲卸ストリートでフローリストに向けてIBCのレン・オークメド、かねとういさお両名により「花芽付き球根」Home sweet bulbを使ったバレンタイン、雛祭りなどの実践的な応用例なども交えた球根アレンジメントのミニデモンストレーションを実際の商品の解説を交えながらおこないました。昨年に引き続き見ていただいたフローリストにはより花芽付き球根を理解する機会となり店舗での展開を積極的に取り入れる内容となりました。



大森花卉さんの 情報サイト「みちくさ」から:

[http://www.oomorikaki.co.jp/blog\\_loiter/2012/01/homesweetbulb2012.php](http://www.oomorikaki.co.jp/blog_loiter/2012/01/homesweetbulb2012.php)

[http://www.oomorikaki.co.jp/blog\\_loiter/2012/01/homesweetbulb-2.php](http://www.oomorikaki.co.jp/blog_loiter/2012/01/homesweetbulb-2.php)

[http://www.oomorikaki.co.jp/blog\\_loiter/2012/01/homesweetbulb3.php](http://www.oomorikaki.co.jp/blog_loiter/2012/01/homesweetbulb3.php)



## 株式会社 日園 (新潟)「Tulip Trial 2012 (チューリップの試験栽培と展示会)」のご紹介

2011年から株式会社 日園 ではオランダ球根輸出業者4社 (Haakman Flowerbulbs BV、Jan de Wit en Zonen BV、P.F.Onings BV、Van Zanten Flowerbulbs BV) の全面協力により、チューリップの促成試験栽培ならびに展示会を行っています。

近年、チューリップの販売が球根および切花関係ともに非常に苦慮しているなかで、「もう少し幅広く試作を見てもらうよう、もっと充実した展示会の計画を」との提案から、試作の公開が始まりました。この試験栽培

がチューリップの販売促進に直接的に役立てられるかどうかはまだ未知数ですが、ご覧になる皆さま方の品種知識の糧になることは確かだと思います。

昨年は約 100 品種弱、今年は約 120 品種の栽培を計画しました。促成栽培向けに冷蔵処理を施した球根を 1 2 月中旬に定植し、早生品種の開花が 2 月上旬頃からと予定しています。同一品種を時期をずらして 2 回に分けているので、3 月の中旬ころまでは以下のようなスケジュールでご覧になることができますようになっています。

	1 回目	2 回目
2 月上旬	早生品種開花予定	
2 月中旬	中生品種開花予定	
2 月下旬	晩生品種開花予定	早生品種開花予定
3 月上旬		中生品種開花予定
3 月中旬		晩生品種開花予定



あくまでも現段階での予測です。詳細はお問い合わせください。

ご来場はどなたでも大歓迎です。ただ、特別な催しやオープンデーなどは設けておりません。皆さまに自由にご覧になっていただきたいと思います。また、弊社HPにて生育状況や詳細がごらんになれます。ご質問、ご不明な点がありましたら、何なりとお問い合わせください。

担当：株式会社 日園 片岡靖志 <http://www.e-nichien.com/>

## 「National Tulip Day 2012」オランダで初めて行われた チューリップ・デー レポート



年明け早々に、オランダらしいびっくりするようなチューリップのイベントが行われたというニュースが飛び込んできました。「ナショナル・チューリップ・デー」というものすごい花摘みイベントです。

2012年1月21日に、初めての「National Tulip Day 2012」イベントがアムステルダムで開催されました。ダム広場を訪れたすべての人々は、自分で花を摘んで花束を作りました。このイベントのためにダム広場には 2500 平方メートルの巨大なチューリップ・ガーデンがつけられ、約 20 万本ものチューリップが用意されました。

午後1時30分、アムステルダムの市長 Eberhard van der Laan (エバーハルト ファン デル ラーン) さんがこのチューリップの一大イベントの開催を公式に宣言し、この日、午後にかけて集まった何千人もの人々が自分の手でチューリップを収穫しました。このユニークなイベントによってチューリップはもちろんのこと、他のすべてのオランダ産の花をプロモーションすることに成功しました。春がきた！というにはまだ少し早いこの時期ですが、心ときめく季節を象徴するチューリップをこんなにたくさん手にすることによって、2012年の春の到来が大きな声で告げられたように感じられたことでしょう。

この一大チューリップイベントは、Tulpen promotie Nederlands がフローラホランド市場と オランダ花卉協会などのプロモーションを担っているたくさんの人々と協力して成功させました。

この日は家族で写真を撮るにも最高の一日となりました。みんなお花の生産者になったように花摘みを楽しみました。

Tulpen promotie Nederlands は、オランダの球根生産者がボランティアシステムにより資金を集めて、チューリップのプロモーションをする団体です。

チューリップデーは毎年1月の第3土曜日に行われます。

動画もご覧ください。 <http://youtu.be/UX64dnaillo>



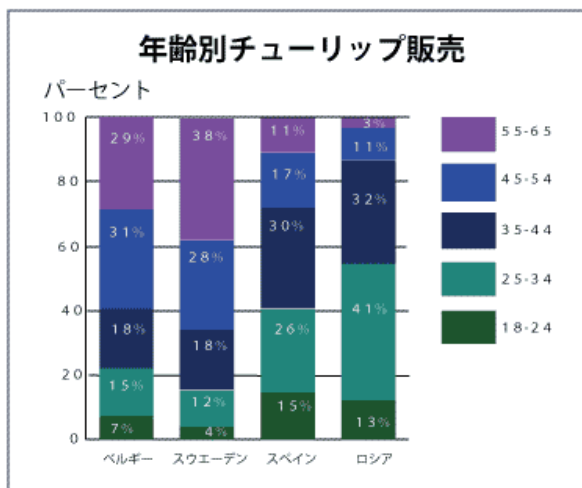
## 「チューリップ好き」の年代層は何歳くらい？ ヨーロッパ各国を比べてみました

チューリップはどの国でも春を告げる花として人気がありますが、購入する年代は国によって特徴があります。

ヨーロッパでは特に赤と黄色が人気で、スイスとスウェーデンでは単色ではなくミックスの花束に人気があり、販売される束の25～30%はミックス束です。

ベルギーではチューリップを購入するお客様の60%、スウェーデンでは66%が45～65歳。反対にスペインやロシアでは圧倒的に若い層に人気があります。スペインは41%、ロシアでは54%の購買層が18歳から34歳の若い人たちです。

(オランダの雑誌 bloemisterij 2号の記事から)



まだまだ寒さの緩まない年明け、寒の頃ですが、光のまぶしさに春の気配を感じるようになりました。厳しい寒さの中だからこそ春に向けての感覚がちょっとだけ感度がよくなっているのかもしれない。2012年も動き出しました。新たな気持ちで iBulb Japan としてのさまざまな活動が始まります。わくわくするような気持ちを忘れずに。

オランダ国際球根協会ニュースレター第034号(2012年1月号) 発行: オランダ国際球根協会

HP: <http://www.kyukon.org/> メールアドレス: [ibc@aurorajp.com](mailto:ibc@aurorajp.com)